

令和6年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

事業名	道路事業 [県道橋りょう改築事業 (国補)]		事業箇所	北杜市長坂町長坂上条	地区名	(主) 長坂高根線 (清光寺坂上交差点)	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	④特記事項 (関連事業概要等) (主) 長坂高根線 (村山東割) R2~R9 L=500m W=6.0(13.0)m (主) 茅野北杜葦崎線 (長坂上条) R2~R9 L=510m W=6.0(10.5)m					
	R1~R6	~						
総事業費	200 百万円	- 百万円	480 百万円	⑤これまでの評価状況 なし				
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果 (主) 長坂高根線は、北杜市長坂町長坂上条から同市高根町箕輪新町に至る全長約7.5kmの道路である。 このうち、清光寺坂上交差点は、カーブ中で市道と交差しており、幅員狭小、急勾配と併せ見通しが悪い状況である。交差点北側に接続する市道は特に急勾配であり、北杜消防署の特殊車両が曲がれず、県道小荒間長坂停車場線との長坂上条交差点まで迂回を余儀なくされている。また、交差点南側に接続する市道は、近隣に工場があり、大型車の通行も頻繁なため、歩行者の安全確保の観点から市が歩道設置事業を実施している。 地域住民からも改良を強く要望されており、早急に整備する必要がある。				②事業位置図等				
<p>□主要目標 ○交差点の安全性、円滑性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 死傷事故率 : 116.8227件 ≥100件/億台km※ ・ 自動車交通量 : 5,236台/12h以上 >3,340台/12h以上※ ・ 道路構造令の平面交差点に関する事項の不適合 : (不適切な交差点形状等による視認性の問題 (変形交差 (くいちがい交差点))) <p>※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上</p> <p>□副次効果 ○走行安全性の確保</p>								
②事業概要 交差点改良 L=200m W=6.0(12.5)m								
③全体計画								
現計画	工事内容	設計 用地補償 道路改良工事	令和5年度まで	令和6年度 (評価実施年度)	令和7年度以降			
	事業費	180 百万円	20 百万円					
変更計画	工事内容	設計 用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事	道路改良工事 舗装工事 台帳整備				
	事業費	189 百万円	10 百万円	281 百万円				

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

変更なし

②産業・経済情勢

変更なし

③国等の方針

変更なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」（令和5年10月改訂）
- ・「山梨県強靱化計画」（令和6年3月改定）
- ・「山梨県社会資本整備重点計画（第4次）」（令和4年9月改定）
- ・「山梨県道路の整備に関するプログラム」（令和6年3月）
- ・「北杜市通学路交通安全プログラム」（令和3年10月改定）

⑤自然環境条件等

変更なし

⑥その他

変更なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手時点		変更計画時点	
総事業費			百万円		百万円
工 期		～		～	
評価基準年					
経 済 効 率 性	費用		百万円		百万円
	建設費		百万円		百万円
	維持管理費		百万円		百万円
	その他(百万円		百万円
	便益		百万円		百万円
			百万円		百万円
			百万円		百万円
	その他※		百万円		百万円
B/C					

※交差点改良であることから、不算出。

（3）これまでの計画変更等の概要

なし

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R6年度進捗率(現計画)100.0%→(実績)98.8%→(変更計画)47.1%

②進捗率実績が計画と相違している理由
買収予定地の一部に土地境界の問題が生じ、その解決に日数を要したことによる。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
用地補償費	130 百万円 増	建物調査の結果、機能上切り離せない建物等を補償対象とした。
工事費	150 百万円 増	・緊急車両の通行を可能にするため、工事範囲が広がった。 ・縦断勾配の緩和のため、交通を切り替えながら段階的に施工するため工事費が増加した。
合計	280 百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定
土地の境界問題の解決に日数を要したことにより、工事進捗が遅れているため、工期を3年延長する。未契約者とは交渉を続けているが、事業への理解は得られているため、早期の契約に努め、令和9年度の完成を目指す。

⑤今後の事業執行における留意点
引き続き未契約者との用地交渉に努めるとともに交差点工事にあたっては、適切な工程管理のもと、計画のとおり工事を進捗させる。

(5) 環境負荷等への配慮

なし

(6) コスト削減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()

(理由)
本交差点は、勾配が急な市道が鋭角に接続する「くいちがい交差点」のため、道路利用者が安全で円滑に通行できる環境が確保できておらず、早急に改善する必要がある。
本事業は、地域からの期待度も高く、未契約者からも事業への理解は得られているため、事業費と工期を見直し、令和9年度の完成を予定してる。

○別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

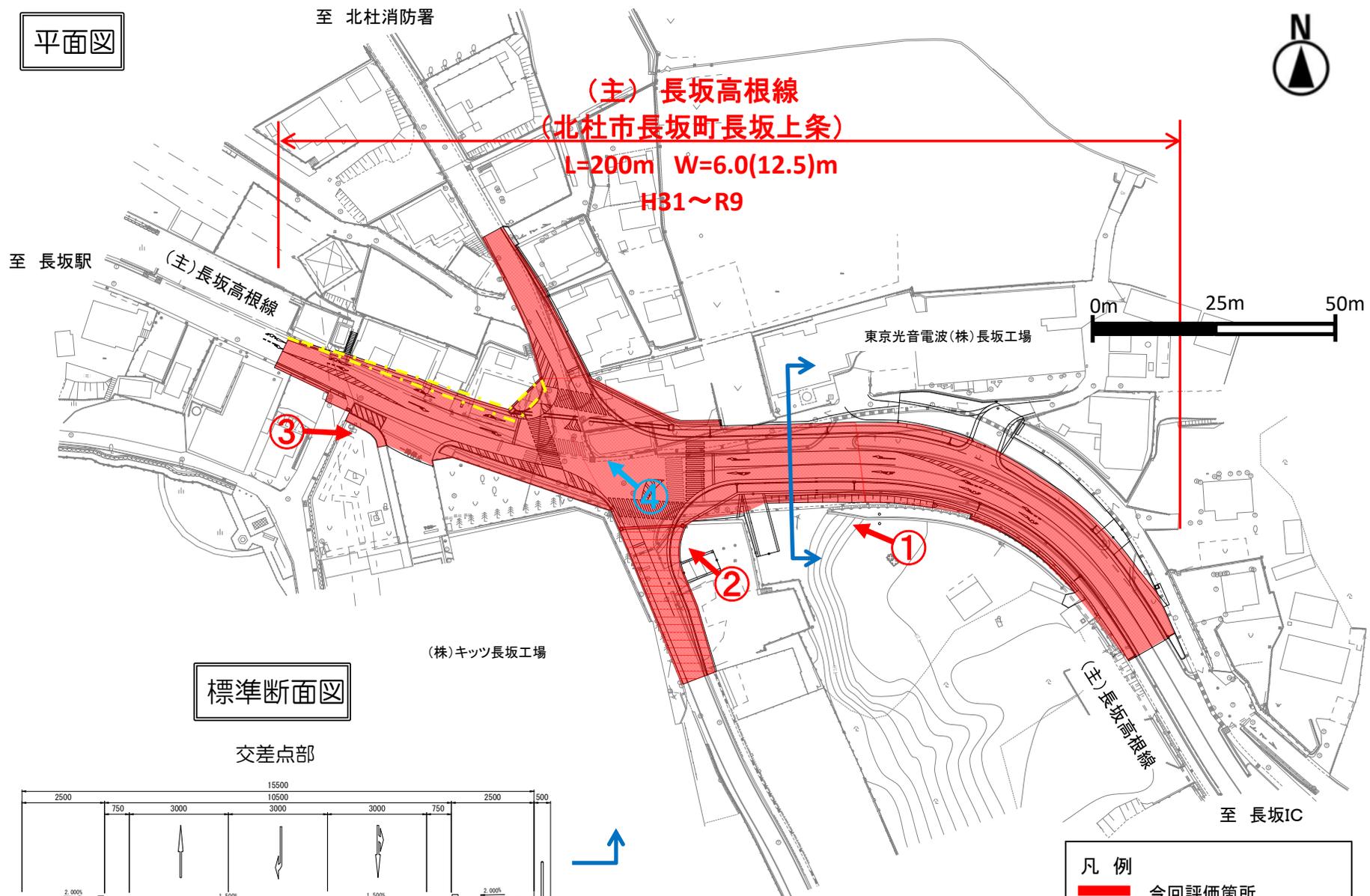
	年度	*H31	R2	R3	R4	R5	*R6	R7	R8	R9
現	計画	20.0	40.0	60.0	75.0	90.0	100.0			
	実績	10.2	17.5	51.9	77.1	94.6	99.6			
変更計画							41.5	76.9	97.7	100.0

*事業着手年度又は評価年度

*R6年度の実績は見込み

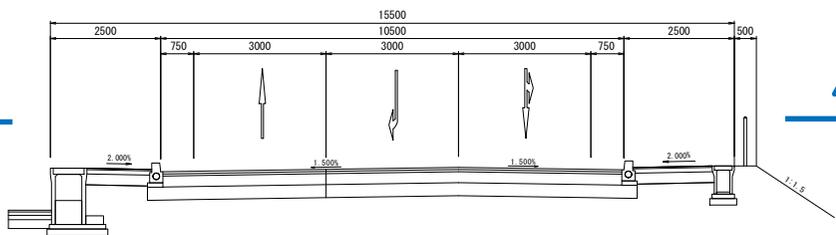
3.添付資料シート(1)

平面図



標準断面図

交差点部



- 凡例
- 今回評価箇所
 - 事業箇所が広がった範囲

3.添付資料シート(2)



